

# 選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名				
連絡場所 及び電話番号	市郡 電話局番 ( )	町村	番地 番	号

## 変わらず青森で生きるために。

山内たかしの政策(概要)

### 1 ゆとりを持って暮らせる青森

青森の賃金は全国的に見て特に低い水準にあります。私たちは、ゆとりと豊かさを感じて暮らせる青森をめざします。

### 4 地域の社会基盤を守り抜く青森

過疎化などにより交通や医療福祉すら成り立たない地域があります。私たちは、生きていくために欠かせない地域の社会基盤を守り抜く青森をつくりま

### 2 経済的に自立した足腰の強い青森

青森は戦後一貫して安い労働力の提供源となってきました。私たちは、外部に大きく依存した地域経済を転換し、自立した足腰の強い青森をめざします。

### 5 誰ひとり見捨てない青森

個人の属性や価値観などによって壁に阻まれるような社会ではいけません。私たちは、すべての人が公正に扱われる、誰ひとり見捨てない青森をめざします。

### 3 子どもや若者が希望を持てる青森

青森では、若者が学びや生活のために、県外に出で行かざるを得ない現実があります。私たちは、これからの世代が生きていける青森をつくりま



初めて選挙に出る前の冬、私は雪の中、山奥の集落を歩いていました。あるお宅の前を通ると、電気は消えているのに、かすかに光が動いていました。声をかけると、おばあさんが出てきました。家に入ると裸電球をつけてくれました。そしたら目の前に、私のポスターが貼ってありました。話を聞くと、旦那さんや息子さんは出稼ぎに行つて、電気がもつたないから、テレビの明かりだけでごはんを食べていたそうです。そんなおばあさんの声援は、心に染み込みました。私は何かしてあげようと、偉そうにも思っていました。でも逆に私のほうがいろいろなものをもらうんです。あのおばあさんのように、青森で一生懸命生きている人たちのために仕事をしたい、そう思ったことが政治家としての私の原点です。



変わる時代でも  
変わらず青森で生きたい。

比例代表は  
立憲民主党  
The Constitutional Democratic Party of Japan



立憲民主党公認

山内  
たかし  
やまうち

【米価下落から農家を守る。】緊急的に令和2年産米の過剰在庫を政府備蓄米として受け入れ、市場から隔離するとともに、農業者戸別所得補償をはじめとした農家を支える制度を強化します。

【コロナ対策：感染防止対策と補償の徹底で、当たり前の日常を取り戻す。】繰り返される感染拡大の波に歯止めをかけるため、ワクチン接種の推進や医療機関・保健所への支援を拡充するとともに、十分な補償を徹底します。

政治は一人ひとりの声から始まる—その思いで、みなさんのお話をお聞きしてきました。青森の暮らしの現実には厳しいものがあります。しかし同時に、多くの方が「変わらず青森に生きたい」と願っています。変わらず青森で生きるために、今こそ政治を変えませんか。

【プロフィール】1955年、弘前市(旧相馬村)生まれ。相馬村立五所小学校、弘前大学教育学部附属中学校、青森県立弘前高校、立教大学経済学部卒業。1979年、青森県職員に。1995年、県議会議員に初当選。その後4期連続当選。2018年、立憲民主党青森県連代表および第3区総支部長に就任。現在に至る。

青森県選挙管理委員会

※ 受付日時	※ 受付番号	※ 受付者印
年 月 日 午前 午後 時 分		

(※印欄は記入しないこと)